

協同の和

広島医療生協 庄原・東城支部

三次市三次町 310-4 (県北事務所内)

TEL:(0824)65-6056 FAX:(0824)64-8445

地区別総代会の報告

4月6日に県北地区の総代会がありました。

本部から斎藤専務が来られ、憲法9条の改定問題、社会保障費を抑制して病人を病院から在宅へ、介護の必要な人は事業所からボランティアへ誘導しようとする政府の動きが説明されました。



また、広島医療生協の2017年度のまとめと2018年度の方針案などの説明があり、他団体との協同・連携し子どもからお年寄りまで誰もが気楽に立ち寄れる場所を拡げ、組合の意識を高め、情勢や経営について学ぶ機会を定期的に作るとの話でした。

経営やマネジメントの話は、正直言ってわからなかったです。限られた時間での説明は大変かと思いますが、本部と離れているため状況が分かりにくいので、もっと組合員にやさしい説明をしていただけたらと思いました。

「共立病院周辺の地域と援助に差がある。県北への手助けがもっと欲しい」「知人に声をかけるときに、組合員になったらどんなメリットがあるのか?」と言われて、具体的な例が説明できない」などの声がありました。

県北地区では2018年度は機関紙配布網の整備して、組合員さんと支部とのつながりを強くしていこうと考えています。(S)

庄原支部総会を行いました

4月7日土曜日に14時30分から庄原支部の総会を行いました。

参加者は運営委員だけと、こじんまりとしたものでしたが、1年の活動を振り返り、来年度の方針を話し合うことができました。



大きな出来事としては、庄原支部と東城支部が分割したことです。組合員数がまだまだ少ないのですが、東城町と旧庄原市は距離が離れすぎており、活動する上で弊害となる為思い切って行いました。

この事がステップとに繋がるよう努力しなくてはなりません。来年度の取り組みとしては、青空健康チェックを6月から11月まで月一回取り組み、機関紙の配達ルートを拡大することなどを計画しました。

「百歳まで元気で乗り越える」をモットーに2018年度も活動に取り組みます。(F)

【4課題目標】

班開催数	班づくり	組合員増	出資金増
30回	2班	10人	50口

担当者が増えました

このたび、健康まちづくりセンターの県北地域担当になりました、中島 常(なかしま ひさし)と申します。

県北地域は、拠点となります広島市安佐地区より離れた地域ではありますが、組合員の皆さま方の積極的な活動により地域で発展を遂げております。

今後とも「地域まるごと健康づくり」を目指し、地域の中で広島医療生協の存在を大きく広げていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

広島医療生協 健康まちづくりセンター
主任 中島 常



えのかわ訪問記

岡檀さんの「生き心地の良い町」を読みました。

徳島県南部の旧海部町は全国でも極めて自殺率の低い地域。岡さんが4年間現地調査に入り、そこで明らかになったことは、①いろんな人がいた方がよい、②人物本位主義、③「どうせ自分なんて」と考えない、④病は市に出せ、⑤ゆるやかにつながる、です。

びっくりしたのは、病は市に出せ。うつ病の受診率が高く、しかも軽症で受診する。

困った時に相談したり助けを求めたりすることを恥ずかしいと思わない、と答える人が多いのもうなずけました。

「SOSを出すこと」

簡単そうで難しいことですが、私自身も日々考えていきたいところです。(毛利)



ご相談は、えのかわへ

訪問看護ステーション えのかわ
居宅介護支援センター えのかわ
TEL 0824-64-8444



6月の行事予定

- 6月4日 機関紙準備(県北事務所) 9:00~
- 6月6日 東城支部総会(ひなの宿) 9:30~
- 6月9日 総代会(佐東公民館) 13:00~
- 6月25日 地区代表者会議兼三次支部会議 9:30~
第3火曜日 笑って元気(酒屋コミュニティ) 10:00~

開催班会:
ひなの宿班
鳳仙花班

